

「秋の日は釣瓶落とし」。釣瓶はおろか井戸自体見かけない今日この頃。耳にすることが少なくなった表現ですが、気がつくと周囲が暗くなっている最近の日の暮れを言い表す絶妙な言葉ではないでしょうか。今の季節、日没は瞬間に井戸深く急降下する釣瓶のよう。深まる秋とともに、日が沈むスピードも加速度を増し、あっという間に夜の帳がおりてきます。それを井戸の釣瓶に例えた昔の人は、実に鋭い観察眼と豊かな表現力を持ち合わせていたのだと改めて感じ入ります。

さて、本ニュースレターでは、国際理解教育における新しくユニークな試みや耳寄りの情報を、学校や地域でワークショップを実践している方々にお届けしています。ぜひ、ご一読ください。



## 1 国際理解教育セミナー「まるごと中国講座パート2～中国茶から学ぶ」

巷はうだるような暑さの日もあり、まだまだ残暑厳しい頃ですが、暦の上ではもう秋。旧暦のお月見を祝う習慣のある中国では、一年で国を挙げてお祝いムードとなるのが、お正月(中が集い、秋の豊作を祈る大切なお祭り)です。

TIAでは、05年度「まるごと中国講座パート1」を開催し、その中で春節(中国のお正月)を取り上げました。その際は、中国青海省出身の中国籍市民を講師に迎え、蕪菜合(にらや人参入りの中華風のおやき)を作りながら、隣国の食文化に触れました。

中国は広大な国土を誇る多民族・多言語国家。「まるごと講座」では数回に分けて中国にスポットを当てて異文化理解のセミナーを開催する予定でその2回目。春節の祝い方や青海省の意外なこぼれ話で盛り上がったパート1の講座とは趣を異にしたパート2の講座は、お茶に注目し、中国の生活とお茶の関係を歴史的・文化的に学びながら、隣人への理解を深める予定です。講師は北京出身の師媛媛(シエンエン)さん。岡崎市国際交流協会の相談員として活躍中です。

中国のお月見に当たる中秋節を垣間見つつ、参加者の皆さん同士も交流を深めましょう!



### 国際理解地域と文化のセミナー 「中国まるごと講座パート2～中国茶から学ぶ」

日 時：06年10月7日(土)  
午後2時～4時30分

場 所：T I A

参 加 費：1000円(中国菓子数種類とお茶つき・小学生は半額)

参加対象：小学校高学年以上 定員：20人

内 容：北京を知るアクティビティ・中国茶にまつわる  
歴史・文化・生活のお話など

申 込：T I A (裏面アドレスなどを参考に！)

## 2 外国人災害サポート ボランティア養成講座開催

阪神淡路大震災や新潟県中越地震など、大災害の度に言葉や習慣の違いから多くの外国人市民が災害要援護者となりがちでした。過去の震災から得た教訓により、近年は多言語表示シートや災害時外国人支援ボランティアセミナー等、地域で取り組む動きも出てきています。



豊田市には、現在78か国・14,946人(06年8月末日豊田市調べ)の外国人市民が生活しています。市役所とTIAでは、東海・東南海地震に備え、今年8月から「外国人災害サポートボランティア養成講座」を開始。ポルトガル語・スペイン語・英語・タイ語・インドネシア語・ネパール語・ベトナム語などを得意とする方たちが国籍を問わず受講し、災害に関する基礎知識から言語・文化に連関する専門的な講義まで全5回が行われています。

災害時には「どんな人でも判断能力が小学校4年生以下」と言い切るのは、先の震災後、「多文化共生センター」を立ち上げた田村太郎さん。

もし、自分が言葉もわからず、地震等の経験もなく、遠い異国で、大きな災害に見舞われたとしたら…。想像しただけでも背筋がぞっとします。

ボランティアは登録制。講座が受講できない場合は一度ご相談ください!

## 3 TIA新着図書資料紹介

『アフリカンキッチン』  
(アフリカ理解プロジェクト編)



東アジアのユニークなアート「ティンガティンガ」が表紙を飾る本書。アフリカのことをあまり知らない人でも、写真から今にも湯気が上がってきそうな料理の数々に食指が動くはずです。

度重なる内戦や自然災害を伝えるメディアの影響もあり、アフリカというと、多くの人々が「飢え」のイメージを抱きがち。もちろん、未だ深刻な食糧不足に悩まされている国や地域はありますが、本書で取り上げられている東アフリカは食の宝庫。

発祥の地エチオピアのコーヒーセレモニーや農業国タンザニアの見事な野菜と果物・アフリカ諸国の珍味の数々が並ぶ市場など、見ていると今すぐにも旅行に行きたくなるアフリカの「台所」が目飛び込んできます。

これは見ないと損。読まないと後悔します。



アフリカの豊かな食文化を通して、大地の実りに感謝する秋。本書片手に夜長を過ごしてみたいかがでしょうか。

## 2006地域の国際化豊田セミナー開催のお知らせ

TIAでは、地域の国際化に関わる自治体職員・NPO団体担当者・市民ボランティアを対象に、身近な国際化の中からテーマを選択し、年に一度研修を行ってきています。

本年度で17回目を迎える本セミナーでは、国際化のまちづくりを取り上げます。多様性を内包し、国を越え多くの人々が行き交う活気溢れるまちにするにはどのような秘策があるのかを、さまざまな角度から分析し、アイデアを共有したいと考えています。

本テーマに関心のある方はどなたでもご参加していただけますので、ぜひお申込みを!ちらしや申込み用紙はTIA窓口他、市内各施設・愛知県や名古屋の国際センターなどにも設置する予定です。

### 【概要】

タイトル：『国際化まちづくり

～これからの視点：多様な市民+地域の魅力+共働』

日時：2006年11月28日(火)午前10時20分から午後4時

場所：豊田産業文化センター多目的ホールなど

資料代：1,000円

内容：基調講演 袁 豊氏(金沢市助役・金沢21世紀美術館館長)

分科会・ ホテル豊田キャッスル・豊田商工会議所・外国籍

パネルトーク 市民・ボランティア・愛知県国際交流協会・武蔵野市

国際交流協会・豊田市



申込み受付など詳細はTIAへ!